

臓器移植医療部（消化器外科 I）に通院中の患者さんへ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 劇症肝炎発症後の時間経過に伴うアフェレシス*の役割についての検討

*アフェレシスとは・・・

アフェレシスは医療機器を使用し体の外で血液をきれいにする（血液中の病因物質を取り除き、血液を固まりやすくする凝固因子など必要な物質を補充する）治療法です。

[研究機関] 北海道大学病院 臓器移植医療部（消化器外科 I）

[研究責任者] 嶋村 剛 （臓器移植医療部・部長）

[研究の目的] 劇症肝炎に対するアフェレシスの治療効果を調査するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

劇症肝炎の患者さんで、1997年4月から2014年4月の間に当院でアフェレシス治療を受けた方

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、アフェレシス治療内容、合併症、肝性昏睡度（肝臓の機能低下によって起こる意識障害の程度）の経過、肝移植実施の有無、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院 臓器移植医療部 担当医師 嶋村 剛

電話 011-706-7063 FAX 011-706-7064